



近隣市町村の議長も来場したにんにくとべごまつり

田子町 議会だより

2017



第93号

平成29年10月25日発行
青森県田子町議会

目次

平成28年度決算を認定	2
一般質問に3議員登壇	6
高校存続目指し調査を	9
議会活動報告	

9月定例会は8月31日から9月7日までの8日間の会期で開催されました。

初日の本会議では7件の議案が提出され、町長から提案理由の説明がありました。

1日の一般質問には3人の議員が登壇し、町政全般にわたり活発な議論が交わされました。

4日には初日に提出された議案7件の審議の後、平成28年度決算の認定について町長から議案が提出されました。それを受け、決算特別委員会を設置し審査を付託。4日間にわたり全会計の歳入歳出決算を審査し認定すべきものと決しました。

平成28年度決算を認定

健全財政に向け課題も



役場前に設置された公共サイン

【一般会計の内訳】

民生費 9億9797万円

- ・三戸郡福祉事務組合負担金 1294万円
- ・田子保育園保育給付費 1億616万円
- ・学童保育運営事業委託金 1804万円

総務費 8億7162万円

- ・公共サイン整備工事 1501万円
- ・定住移住促進通勤支援助成金 768万円
- ・TCV業務委託料 6353万円

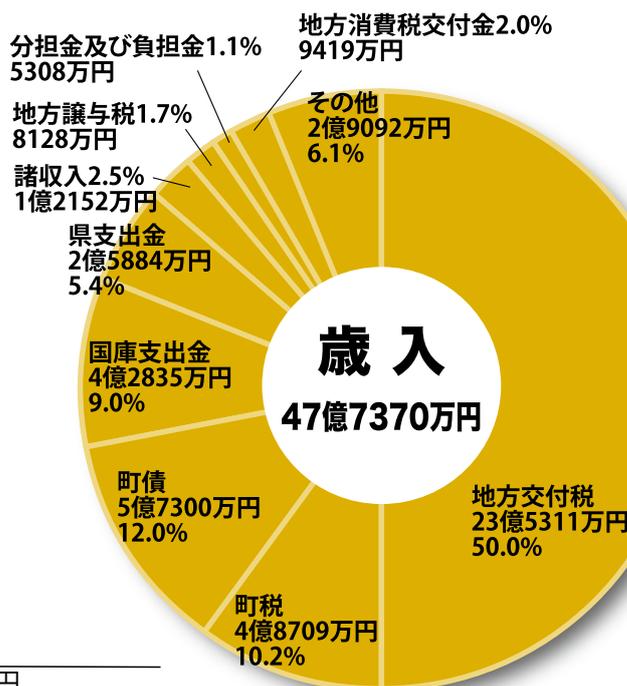
公債費 6億5523万円

- ・町の借金返済に使う費用



農林水産業費 5億2187万円

- ・青年就農給付金事業補助金 1500万円
- ・たつこにんにく製品向上対策事業補助金 2569万円
- ・田子牛産地形成事業費補助金 1115万円



決算審査意見書(要旨)

一般会計及び特別会計とも、予算の執行は効率的かつ適正で、事業の執行についてもおおむね良好に進捗しており成果が認められた。

収入未済額においては、町税(前年度比872千円減)及び国民健康保険税(前年度比754千円減)は減少傾向にあるものの、保育園運営費保護者負担金(現年分が増)、町営住宅家賃(現年分・繰越分共に増)は、増加傾向にある。町全体の会計では依然として大きな金額であり、滞納整理の推進と県市町村総合事務組合との連携を一層強化し、徴収の効果を上げるとともに適正な欠損処分処理を望む。なお、不納欠損処分については、その理由と手続等を慎重に審査し、実情やむを得ないものと認めた。

歳出面について、交付税等の減少で年々厳し

消防費 1億5565万円

- ・消防自動車用ホース購入 107万円
- ・屋外拡声施設新設工事 434万円
- ・自主防災組織育成強化特別推進事業費補助金 414万円



清水頭自主防災組織の
防災訓練

その他

- 商工費 1億3832万円
- 議会費 7516万円
- 労働費 70万円
- 諸支出金 125万円

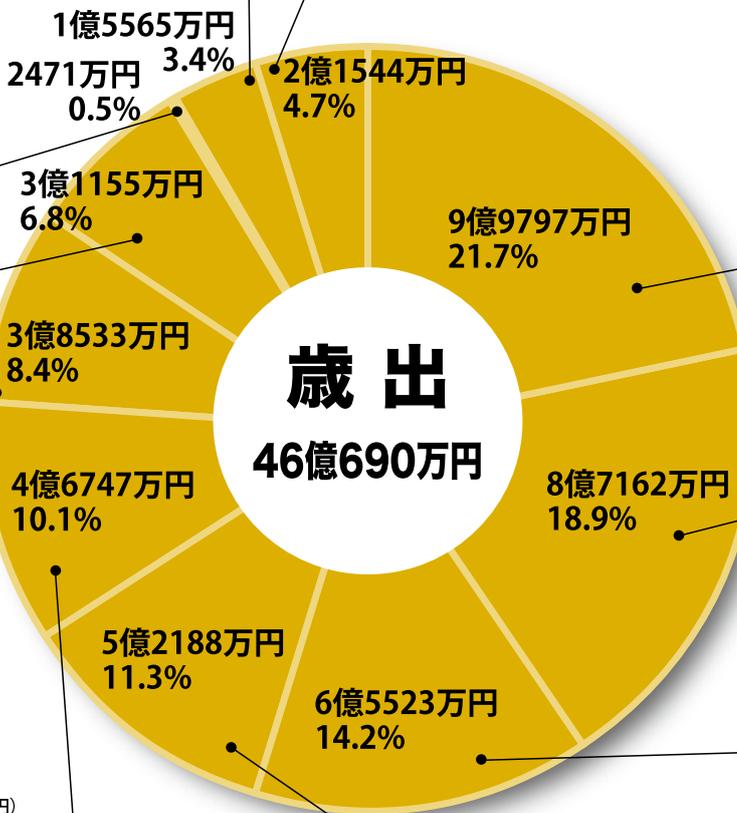
災害復旧費 2471万円

土木費 3億1155万円

- ・道路維持費 4191万円
- ・道路新設改良費 1億5610万円
- ・除雪費 3799万円

衛生費 3億8533万円

- ・がん、肝炎等検診委託料 1093万円
- ・インフルエンザ等予防接種事業補助金 1051万円
- ・環境美化活動謝礼 61万円



教育費 4億6747万円

- ・農業者トレーニングセンター更新工事 3340万円
- ・上郷小学校改修・構内整備工事 1016万円
- ・給食センターボイラー更新工事 1640万円

〈平成28年度各会計の決算額〉

(単位:円)

会計区分	歳入	歳出
一般会計	4,773,703,798	4,606,896,391
特別会計		
国民健康保険事業	1,012,910,020	1,006,116,461
後期高齢者医療	65,172,488	65,166,796
介護保険事業	1,007,240,196	969,137,147
町立田子診療所及び介護老人保健施設事業	411,486,766	410,237,907
合計	7,270,513,268	7,057,554,702

会計区分	歳入	歳出
企業会計 水道事業	収益的収入	154,445,322
	収益的支出	-
	資本的収入	71,851,000
	資本的支出	-
		145,137,509

さが増す昨今、健全かつ
 着実な財政運営を図る
 べく、歳出の抑制に努め
 なければならぬ。今後
 の事務事業の予算編成
 及び予算執行に当って
 は、町財政健全化計画及
 び本町のおかれている
 現実への認識を深め、行
 政上の効果を高める努
 力をしていただきたい。
 特に他団体への補助金
 交付については、申請書
 並びに決算書の精査を
 綿密に行い適正なる交
 付を望む。
 特別会計に係わる事
 業運営では、後期高齢者
 医療、介護保険事業勘定
 に係る経費が年々増加
 傾向にあり、一般会計か
 らの繰入金依存度軽減
 のためにも予防医療事
 業に力を入れるなど創
 意工夫に努力されるこ
 とを望む。

田子町監査委員

高沢靖直
日沢一雄

平成28年度決算審査特別委員会

町の決算を審査

9月4日から7日までの決算特別委員会では、委員長に砂子田康雄委員、副委員長に欠端則夫委員が選任され、議員全員が委員となり、平成28年度決算について審査を行いました。予算が適正に執行されたかを審査するとともに、行政効果や経済効果を測定し、住民に代わって評価します。ここでは主な質疑を要約して掲載します。

歳入

問 澤口勝委員

固定資産税の不納欠損の件数、内容、未済額の見通しは。

答 岩間税務課長

不納欠損は42名。滞納整理機構に徴収を依頼し、財産がないといった旨の報告を受けた分を欠損した。収入未済は、わずかだが現年度の徴収率が上がっているため、繰り越す分の滞納繰越額が減少していく。

問 尾形委員

地方交付税が前年より減少しているがその要因は。

答 原副町長

様々な要素があるが、一番は人口。国勢調査の人口を増やすことが、普通交付税を伸ばす要因となる。人口減に歯止めをかけるため、アパート建設の促進、道の駅を作り雇用を生む、6次産業化に向けたチャレンジシヨップの創設などを掲げている。

歳出

4款 衛生費

胃がん検診委託料等 1123万4千円

問 蹴場委員

個人で行った検診に補助が出るのか。

答 富岡健康増進課長

町に健診センターからバスで来て行う集団検診に対する助成。乳がん検診等、一部の検診には直接健診センターで受診したものに對して助成するが、せせらぎの郷等で行っている集団検診を対象としている。

問 蹴場委員

集団検診に個人負担はあるのか。

答 富岡健康増進課長

金額は検診内容によるが、個人負担はある。例えば肺がん検診であれば1人500円、胃がん検診であれば1000円。大部分は町で負担している。

6款 農林水産業費

にんにく総合振興費 8062万8千円

問 宇藤委員

配布が始まった種子が土付きであるという話を聞いた。業者から来る種子で土付きというケースはないと聞いている。手紙等で土付きの給付であると知らせていたか。1年を総括し課題を修正して農家への対応をしっかりとしてほしい。

答 山本町長

担当室で進めていることについて、これまでも様々な意見が出ているので、担当課、担当室の方からも話を聞き、また種に関する対応の仕方というところの、これはイメージの方が優先されるのか、実質的に何か困難なところがあるのかも含め、農家の皆さんからもお話を聞きながら、どのような対応がふさわしいのかを決めていきたい。

問 山本町長

ふるさと大使記念品 8万円

問 尾形委員

田子町ふるさと大使事業として、4名の方にお願いしている。もっと拡充をしたらどうか。

答 山本町長

ふるさと大使の任命の仕方は、委員おっしゃるとおりにもう少し気軽に考えてもいいのかなというところはあろうかと思う。基準や方向性、どんなふうな活動をしてもらった

ら良いのか研究をさせていたいただきたい。また、拡充というのはそのとおりだと思うが、方法についても研究させていたいただきたい。

問 沢口博二委員

先日の消防委員会

で消火栓や消火水利のない地域の設備を進めるようお願いしたが、その後どうなったか。

答 堀田総務課長

消火栓等ない地区ということで水亦地区と、消火栓はあるが住宅等が増え整備が必要な地域として野々上地区の話が出た。水亦地区は、防火水槽などを設置して貯水し、自然流水を使えば一番良いと思われる、検討を進めている。野々上地区は、公共施設、小学校を守る観点から、設置について今検討している。

9款 消防費

先日の消防委員会

で消火栓や消火水利のない地域の設備を進めるようお願いしたが、その後どうなったか。

答 堀田総務課長

消火栓等ない地区ということで水亦地区と、消火栓はあるが住宅等が増え整備が必要な地域として野々上地区の話が出た。水亦地区は、防火水槽などを設置して貯水し、自然流水を使えば一番良いと思われる、検討を進めている。野々上地区は、公共施設、小学校を守る観点から、設置について今検討している。

審議結果

補正予算や条例改正など、
10件の議案が提出され、審議しました。
結果を一覧で掲載します。

議案番号	件名と主な内容	議決結果
報告 第7号	専決処分した事件の承認について（平成29年度田子町一般会計補正予算（第2号）について） 平成29年7月22日から23日にかけての大雨被害に伴い、農林水産業施設及び公共土木施設に係る災害復旧事業を早急に実施するため専決処分したもの	承認可決 (賛10・否0)
議案 第56号	職員の分限に関する手続き及び効果に関する条例の一部改正について 地方公務員法の一部改正並びに人事評価制度の本格実施に係る所要の整備を行う必要があるため、関係条項を改正するもの	原案可決 (賛10・否0)
議案 第57号	大黒森施設設置管理条例の一部改正について 創遊村229スキーランド施設、リフト使用料の減免に係る所要の整備を行う必要があるため、関係条項を改正するもの	原案可決 (賛10・否0)
議案 第58号	平成29年度田子町一般会計補正予算（第3号）について	原案可決 (賛10・否0)
議案 第59号	平成29年度田子町国民健康保険事業勘定特別会計補正予算（第2号）について	原案可決 (賛10・否0)
議案 第60号	平成29年度田子町介護保険事業勘定特別会計補正予算（第2号）について	原案可決 (賛10・否0)
議案 第61号	平成29年度田子町国民健康保険町立田子診療所及び介護老人保健施設事業特別会計補正予算（第2号）について	原案可決 (賛10・否0)
議案 第62号	工事請負契約の締結について（田子小学校グラウンド改修工事）	原案可決 (賛10・否0)
議案 第63号	町立田子診療所自動車事故に係る示談契約及び損害賠償について	原案可決 (賛10・否0)
認定 第1号	平成28年度田子町各会計歳入歳出の認定について	認定可決 (賛10・否0)

お詫びと訂正

平成29年7月26日発行「田子町議会だより第92号」の内容に誤りがありました。
お詫びして訂正いたします。

○訂正内容

P5 審議結果

議案第42号から議案第50号 「田子町農業委員会委員の任命について」
委員任期に誤りがあります。

誤：平成29年7月20日～平成32年7月20日・22日・23日・24日・
25日・26日・27日・28日

正：平成29年7月20日～平成32年7月19日

一般質問

一般質問は、町政全般にわたって町に疑問点を問いただし、議員自らの政策提言を行う大事な議員活動の場です。9月定例会では議員3人が一般質問を行いました。



欠端則夫 議員

町民の健康 病気介護について

【質問1】
病院等から死亡と
か、病気の原因のデー
タは町に報告があるの
か。どのような病気が
多いのか。

【町長答弁】
で一番多かったのは
「がん」。2番目は「肺
炎」。3番目は「脳血管
疾患」や「心疾患」が
挙げられる。

町民の方が医療機関
を利用した際、データ
提供されることはない。
国民健康保険を利用し
ている方に限って、数
ヶ月後には市町村にデ
ータとして提供される。
平成28年度に死亡原因

【質問2】
介護ヘルパー不足と
言われている。町の養
成講座で資格を取った
方の動向は。

【町長答弁】
昨年までの5年間で
研修受講者は63名。内
12名が田子高校の生徒。

資格取得後に新たに介
護職に従事された方が
7人、元々介護職に従
事していた方が20人と
なっている。

【質問3】
老健も同じく人員不
足と言うが、入所可能
人員と入所者数、係員
の数とどの程度の人員
が不足しているのか。

【町長答弁】
入所定員数は29人で

入所者数は21人。技能
職の従事者数は、医師
2名、理学療法士1名、
作業療法士1名、看護
職員7名、介護職員7
名、栄養士1名、介護
支援専門員1名。従事
者の不足者数は、常勤
の方で夜勤の可能な介
護職員を2名程度確保
できれば、本来の入所
者数を確保することが
可能になる。



平成28年度介護職員初任者研修修了式の様子

鳥獣被害について

【質問1】
今年の鳥獣害の数と
動物の種類は。

【町長答弁】

8月18日現在で被害
件数8件。熊による被
害7件。カラス1件。
前年度の17件と比較し
下回っている。

【質問2】

当町及び近くの市町
村における熊の捕獲数
と性別等は。

【町長答弁】

8月18日現在で、当
町ではオス2頭、三戸
町ではメス1頭、新郷
村では0頭、鹿角市で
はオス28頭、メス11頭、
性別未確認5頭を捕獲
している。

【質問3】
近年、鹿が結構多く
出ているようだ。町で
鹿のオリを用意する気
はないか。

【町長答弁】

当町でニホンジカに
よる農作物被害の発生
はないが、センサーカ
メラを使用し、引き続
き調査を進めるととも
に、県や猟友会と連携
し、今後の農作物被害
に備え、オリ等の導入
について検討する。



農作物被害が心配されるニホンジカ



日 沢 一 雄 議 員

中高一貫教育と田子高校の今後

【質問1】

中高一貫教育は17年目を迎えるが、田子地域への導入の狙いは何だったのか伺う。

【教育長答弁】

中高一貫教育の狙いが田子町の教育の狙いと合致したこと、少子化への対応として有効であることが挙げられる。

【質問2】

今年度の連携中学校からの入学数が8名となった、この分析結果をどのようにとらえているか。

【教育長答弁】

進学者が少なく非常に残念に思っている。進学先の決定は、先生からの情報提供、アドバイスなどを受けながら、子どもの高校卒業後のこと、経費なども含めた諸々の状況を考慮し、より良い環境でと、本人、保護者、両者の合意により決めていると思われる。

【質問3】

中学卒業生40名の中、田子高校への入学希望者が8名とわかった時点で、どんな対応策

をとったのか。県立高校ということで、町の教育委員会として、そのようなシステム機能がなかったのか伺いたい。

【教育長答弁】

入学祝い金の支給や医療費助成、中高一貫教育における協力体制と併せて、田子高校後援会とも協力しながら、生徒のみならず保護者からも魅力ある田子高校として、進学先に志望してもらえよう、様々な支援を行ってきた。さらに何が求められるのか、他に何か良い支援策があるのか、委員会内でも良い方策がなかなか思いつかず困惑していた。

【質問4】

少子化の中、生徒の選択の多様化の中で、県立高校が閉校になってもやむを得ないと考えるか。

【町長答弁】

生徒の選択の多様化が高校の選択のみではなく、その先の大学等の進路や専門技術習得への人生の道筋を願い努力するにしても、やはりその選択の一つとして田子高校はできる限り地域に存在してほしいと願っており、粘り強く、関係する皆様と連携して様々な支援を行っていききたいと考えている。

【質問1】

田子高校生とギルロイ高校生の交換留学の実施はできないのか。

【町長答弁】

交換留学となれば、短期ではなく1年程度の期間になるうかと思われる。相手高校との相互の交換の取り決めや、カリキュラム及び単位の認定、また、保護者等の関係者の経済

交換留学生の受け入れは

的負担もより大きなものとなると予想されるので、町国際交流協会や学校などと相談し研究してみたい。

【質問2】

グローバル化する国際社会に対応できる人材が求められている。小・中・高生を対象とした英語の塾を開設してはどうか。

【町長答弁】

英語力の強化は国全体の要請となりつつある。幸い当町は、ギルロイ市との長い交流を持ち、日頃から英語に接する機会を多く持つていると思う。今後、町国際交流協会などの団体の協力を得ながら、様々な事業の制度や仕組みを活用した取り組みができないものか、英語塾の調査研究をしていきたいと思っている。



田子高校生とギルロイ市高校生の交流



沢口博二 議員

路線バスについて

【質問1】

県北バスに経営が変わったが、今までと何か変わる点はあるのか。

【町長答弁】

路線バス、コミュニティバス共にダイヤ、運賃について、変更はないと聞いている。

【質問2】

自由な場所での乗り降りを、試験的にやることはできないか。

【町長答弁】

道路交通法令により、交通安全上の問題の可能性がある区間では、

フリー乗降区間は設定できない。今後も検討は続けたい。

【質問3】

タクシーを補完的な交通手段として利用することはできないか。

【町長答弁】

必要経費の確保、運転要員の確保等の問題があるが、今後も事業所とともに検討をしてまいりたい。

にんにくについて

【質問1】

来年度の種子生産体制はできているか。

【町長答弁】

冬の間から、体制を見直し、作業に伴う作業員、必要資機材等の実施計画を作成し、9月中の植え付け終了を目指している。

【質問2】

今年の反省、総括は済んでいるのか。

【町長答弁】

今年の実績を総括し

た上で、今秋の作付けに向けた方針と目標を設定し、作業に入っている。

【質問3】

「生産組合」をつくり、種の増殖を農家に任せる考えはないか。

【町長答弁】

現在、産業振興課内において検討しており、施設の有効活用の観点から、地元の意見を聞きながら検討していきたい。

創遊村について

【質問1】

町で検討している、来年度以降のあり方について、進捗状況はいかがか。

【町長答弁】

町としての活用方法を模索し、方向性を洗い出している状況であり、経費を含めた検討をしている。

【質問2】

検討委員会に民間人は入っているか。ぜひ、地元、清水頭地区の人を入れてもらいたい。

【町長答弁】

現在、産業振興課内において検討しており、施設の有効活用の観点から、地元の意見を聞きながら検討していきたい。

産業について

【質問1】

農業委員の役割、存在意義は何か。

【町長答弁】

役割は農地の権利移動の許認可、利用の最適化の推進であり、農業生産力の発展、農業経営の合理化を図ることとその意義がある。

【質問2】

選任の仕方がどう変わったのか。

【町長答弁】

「公認制」から公募推薦による市町村長の「任命制」に移行した。

【質問3】

その選任結果を、どうとらえているか。また、課題はあるか。

【町長答弁】

今は課題がないが、課題が出たら農業委員会と協力し、農地利用の最適化を目指す。



創遊村で行われたグルメマラソン

議員活動報告

議員はそれぞれ、議会運営（議会広報編集）委員会、総務・文教常任委員会、産業・民生常任委員会に5人ずつ所属しています。また、特別委員会の活動や、町政に活かすため研修会の参加、先進地の視察を行っています。

協議

○実施日 8月18日

議長の諮問を受け、8月31日開会の平成29年田子町議会第3回定例会の議事日程について協議を行った。

議会広報編集委員会

○実施日 7月10日

議会だより第92号の10月25日発行に向け、各自が担当した原稿の内容を確認し、誤字・脱字や、レイアウトについて校正した。

滞りのない 議会運営を

議会運営委員会（議会広報編集委員会）

【構成委員】 宮村尚哉委員長 宇藤大介副委員長 砂子田康雄委員
日沢一雄委員 尾形憲男委員

学校訪問

○実施日 6月22日

各学校から運営等の説明を受け、校内一巡し授業参観をした。学力向上はもとより、健康面や学校生活についても保護者と連携し、子どもたちのために努力していた。

事務事業調査

○実施日 8月9日

委員会を開催し、所管に係る事務事業の調査を行った。

【教育課】

給食センターボイラ1送風機故障、学校施設改修工事の説明。

県教委が策定した県立高校教育改革推進計画第1期実施計画の概要説明があり、当委員会は、地元の田子高校についても調査・研

究する確認をした。

【総務課】

今年度の普通交付税額は20億5576万1千円。7月22日、23日の大雨被害に対する緊急対応分として補正予算を専決処分した旨の説明があった。

【政策推進課】

連携中核都市圏ビジョンの変更等について、医師派遣事業の拡充とAED普及促進事業ほか1事業を追加すること。

【住民課】

本年度は関地区集落センター他2件の工事を予定している。

【税務課】

6月末現在の徴収実績は、一般会計と国保税は昨年度より若干増となっており。ふるさと納税は昨年より件数・金額ともに減少。

事務事業調査

○実施日 8月10日

委員会を開催し所管に係る事務事業の調査を行った。

【診療所】

平成28年度の利用者数は、診療所は1日平均約52人。老健たっこは長期・短期合わせて20人。

自動糖尿病検査装置など5台を更新。重油ボイラーの老朽化によりエコ給湯機へ更新。

【健康増進課】

9月補正でピロリ菌治療費助成。介護保険料徴収に誤りがあり、お詫び文を送付。

【住民課】

田子保育園121名、上郷保育園17名入園。学童保育85名、上郷分館16名利用。保育園移転手続きは、農地転用の現在の状況説明。

許可申請済。土地の整備は今年度又は来年度予定。和平地区と小国地区に風力発電の計画、環境調査等を実施。

【建設課】

7月22日～23日の大雨被害は、公共土木74件、農林産業施設47件、合計約2780万円。緊急性が高い1620万円について予算を専決処分。

【産業振興課】

水道施設、今年度は、遠瀬から新田配水池区間の布設替工事実施。

にんにくオリジナル品種、生産農家の4割から仮注文。9月上旬までに分譲。病害虫被害は、例年より少ない。

アンテナショップ事業 の詳細説明を要望

産業・民生常任委員会

【構成委員】 尾形憲男委員長 宮村尚哉副委員長 蹴揚清人委員
沢口博二委員 欠端則夫委員

県下町村議会議員研修会



講師の須田慎一郎氏

7月20日、青森市において県下町村議会議員研修会が開催されました。当研修会は、県下の町村議員を対象とし、国政の動向や我々の日々の議会・議員活動のあり方を多面的な角度・観点から学び、議員個々の資質の向上、各町村議会の更なる発展を目指し、毎年行われているものです。講師にはジャーナリストの須田慎一郎氏を招き、「今後の政局」と題し2時間余にわたる講話を拝聴しました。マスクミ等で報道されない永田町の裏話や、官僚の苦労話、様変わりする世界情勢への日本のあり方等、多岐にわたり学ぶ事ができました。

町政に携わる我々も広い見識と多彩な対応力・決断力を身に付け、多様化する行政のニーズに順応力を高めていかななくてはと決意を新たにしました。

(宇藤大介)

二戸市・三戸町・田子町 議会議員協議会調査研究会

8月21日、二戸、三戸、田子の議会議員協議会で、青森、岩手県境不法投棄現場跡地の植樹による森林整備の現場を見た。

青森県側は既に植林を終えており、私も自分で植えた辺りの様子を見たが、木の生育の早さが違うのか、やけにグミの木が大きく、多く思えた。枯れた木はほとんど見受けられ

ずほっとした。岩手県側では、まだ少し地下水の処理が残っているようで、集水井戸と水処理施設を見学した。同時に、漆試験を行っていて、漆とカラマツの生育経過を見ていくという。

この地方にあった漆を選んだことに感心し、何とか上手くいって欲しいと思った。

(欠端則夫)



産廃不法投棄現場跡地を現地調査

町村議会広報研修会

平成29年度 町村議会広報研修会



多数の議員が参加した研修会

9月28日、東京都千代田区にある砂防会館にて開催された、「町村議会広報研修会」に広報委員長として参加して参りました。

プログラムは3部構成になっており、第1部は「伝える広報から伝わる広報へ」、第2部は「広報誌×電子広報」がどう変わってきたか!、第3部は広報コンクール クリニックでした。

研修内容としては第

1部では誌面作りに関して見やすい、読みやすい、わかりやすい文章の書き方、レイアウト、写真の使い方を聞いてきました。第2部では広報誌の在り方、媒体の変革など紹介していただきました。第3部のクリニックでは優秀作品2誌の紹介と解説をいただきました。この研修を通じて広報誌面作りに生かしたいと思えます。

(宮村尚哉)

新しい水源地を調査

平成29年9月6日、大字遠瀬字田代沢地内の新水源地を現地調査しました。

まず、議員控室にて概要の説明を受け、その後現地に向かいました。概要は次のとおり、

新水源地及び上水道の整備を行うことにより、これまでの新遠瀬水系（遠瀬・道前・道地まで給水）及び新田水系（新田のみ給水）



山中にある水源地を調査

とができま
す。
施設整備により、より安全な水道水の供給が可能となります。調査した水源地は、新田から花木ダム方面

の両地域への給水が可能となり、現在の新遠瀬水系及び新田水系それぞれの施設を統廃合することにより、遠隔監視等による管理の一元化が可能となります。

施設を統廃合することで、老朽化に伴う更新費用及びクリプト対策に要する整備費用が削減でき、維持管理費を削減するこ



給水設備設置予定地

まで進み、その後夏坂へ抜ける林道を進み、林道に車を停め、さらに山林を分け入った所にあります。水は冷たく水量は十分でした。帰路は沢つたいに降りたが、林道までは山道を歩くよりも距離が非常に近かった。年次計画とおりに進めて頂きたいと思えます。

(尾形憲男)

和牛のオリンピックピックを視察 〜田子高原広域事務組合口議員視察〜



全国和牛能力共進会を視察

産業の威信をかけた大会です。当組合管内畜産農家からは、田子町より6頭、三戸町より11頭が上位入賞を目指し、審査に臨みました。

田子町の生産者の成績は、下記の表のとおりです。

今回の大会は、出品農家及び関係団体の畜産振興に対する意識向上の絶好の機会となりました。

田子町の生産者の成績

出品区	出品者	等級
第4区 系統雌牛群	尾形欣典	優等賞6席
第5区 繁殖雌牛群	森崎 敏 他	1等賞4席
第7区 総合評価群	蹴揚忠義 他	1等賞5席

視察をして

全共は九州勢の圧勝に終わりましたが、今回は担い手育成のため、高校の部もあり、これが戸数、頭数の減にストッパーがかかれば良いと思えます。

5年後の鹿児島大会に期待をしたいと思えます。

(砂子田康雄)

ひと言インタビュー

定例会を傍聴しての感想や、議会への意見など、お話を伺いました。

移住し農業で生活できることを証明したい



沢森さんご夫婦

靖史さん(右)・由華さん

元地域おこし協力隊 沢森靖史さん(39)

宮城県出身。地域おこし協力隊として平成26年10月1日に着任。農業の勉強をしながら田子町の情報や魅力を発信する活動をし、平成28年には「第11回ふるさと自慢わがまちCM大賞」で大賞を受賞。平成29年3月には田子町在住の沢森由華さんと結婚。協力隊卒業後は、農業と町の情報発信に取り組みながら、「農業で安心して生活できることを証明する」ことを目標に日々頑張っています。

①着任先に田子町を選んだ理由は？

地方の山間部の暮らしや農業に興味があったのと、写真や山歩きが趣味で自分に合っていました。田子町の協力隊の情報がよく更新されていて、熱心だなと強い関心をもちました。

②田子町で暮らしてどうでしたか？

町の皆さんが大変親切で、協力隊の活動や、農業を始めた時にたくさん助けてもらいました。

移住者が入ってくるだけで意識の活性化がもたらされるようで、町にとってみれば大変良いことだと思います。

③地域おこし協力隊を考えている人にはじめから定住を決めていると地域で円滑に活動できます。地域行事に積極的に参加すると地域の人たちとコミュニケーションがとれるし、

お忙しいなかご協力いただき、ありがとうございます。

④これから定住しての目標は？

暮らしの楽しみになります。任期満了後の事を常に意識している必要があります。協力隊の活動は多忙だが、定住後の生活の準備もしていけないといけないし、周囲もそれを理解してほしいと思います。

⑤要望などはありますか？

すでに始めていますが農業です。町の第一次産業である農林業が開けてくれば田子町に住もうという人が増えると思います。その道筋になれるように頑張りたい。そこで食べていけるといふ証明が必要だと思います。

⑥要望などはありますか？

議員の皆さんが朝まで熱っぽく田子町を討論する番組を作りたいです。

お忙しいなかご協力いただき、ありがとうございます。

編集後記

9月15日に行われた敬老会に参加した。まだまだお元気で仕事の現場で頑張っておられる方も多く見受けられた。長年の人生の中で培われた知恵と経験は社会にとってかけがえない宝ではないだろうか。1人の老人が亡くなることは、図書館が1つ無くなるようなものだと言われた人がいた。未来を担うのは若者や子どもたちだが、未来は今のお年寄りの知恵や経験を生かしてつくるもので、そのお年寄りが安心して暮らせる社会をつくること、それが豊かな未来につながると思う。日々敬老。お年寄りを大切に。

日沢一雄

発行・編集責任者

議長 澤口 勝

議会広報編集委員会(第93号)

委員長 宮村 尚哉

副委員長 宇藤 大介

委員 砂子田康雄

日沢 一雄

尾形 憲男

執筆協力

沢口 博二

欠端 則夫

沢森 靖史